

研究機関名：誠愛リハビリテーション病院

<b>研究課題名</b> 咀嚼評価表を用いた常食摂取者とソフト食摂取者を分ける要因の検討
<b>研究期間</b> 西暦 2015年11月 ～ 2016年4月
<b>対象資料</b> 診療情報（基本情報、言語聴覚療法評価情報） 上記材料の採取期間 西暦2015年11月1日 ～ 2016年4月30日
<b>意義・目的</b> 当院では7段階の段階的嚥下食を採用している。開始食からミキサー食までの食形態選択においては送り込み能力、嚥下能力が最も影響していると考えられる。ソフト食、常食は咀嚼を必要とする形態である。ソフト食は硬度が低く、凝集性が高く、付着性が低いことが特徴である。一方、常食の物性は食材により多様性があり、より高度な咀嚼能力が必要となる。しかし、咀嚼機能を測る検査の報告は少なく、ソフト食から常食に上げる際の明確な基準はない。 今回、我々は咀嚼評価表を試作した。この咀嚼評価表を食形態選択の判断基準の指標として用いるために、常食摂取者とソフト食摂取者において食形態と咀嚼評価表の各項目について関連性を検討することを本研究の目的とする。
<b>方法</b> 西暦2015年11月1日以降に入院し、2016年4月30日までに当院を退院した脳卒中片麻痺症例の診療情報から後ろ向き臨床統計を行う。
<b>本研究の問い合わせ窓口</b> 誠愛リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴覚士 大平 梨栄 〒816-0956 福岡県大野城市南大利2丁目7-2 TEL 092-595-1151 FAX 092-595-1199 E-mail kenkyu@seiai-riha.com